

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年10月1日～10月11日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 佐藤、齋藤大、成田、佐藤治、相坂、齋藤慶、三上、前田、玉田、福土、蒔苗、高橋、外崎、山本 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	1人	1人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のアセスメントの段階から、介護支援専門員以外の職員も積極的に関わるようにしていくことは継続していく。(利用者・家族との関係構築のため) ・担当以外等により十分な情報把握ができにくい場合でも、受け身ではなく自ら確認する意識を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・利用前のアセスメントの際に、担当となる介護職員が介護支援専門員と同行することとしているが、担当意識が増し、お互い顔が見えることにより、結果的に良好な関係をスムーズに築くことができているため、今後も継続していく必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	10			14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	11	1		14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3	9	2		14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	7	5		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人が困っていることや不安を受け止め、情報を得ると同時に安心感を与えるように努めている。 ・介護支援専門員がミーティングの場で詳細を伝えることができちゃんと共有できている。 ・アセスメント時から介護支援専門員以外の職員も関われるようになり、より情報が分かりやすくなった。 ・事前アセスメントや関係機関からの情報を申し送りして共有している。 ・不安がないか緊張はないか、何か困っていることがないか等、適度な距離感を保つよう心がけ、声掛けしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・情報は確認できているが、アセスメントの段階からは関わっていない。 ・「本人を支えるため」の思いが強く、介護者への配慮ができていなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や訪問の際など、家族と積極的に関わりを持つようにし良好な関係構築に取り組んでいく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年10月1日～10月11日

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 佐藤、齋藤大、成田、佐藤治、相坂、齋藤慶、三上、前田、玉田、福土、蒔苗、高橋、外崎、山本（14名）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	6人	5人	1人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングの機会を活用して積極的に意見交換することで利用者本人の意向や目標を把握し、実現に向けた関わりができるように取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングの場等での意見交換は増えてきているが、目の前のことについての支援に偏り、目標（ゴール）を意識した支援まで至らないケースが多かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	2	7	4	1	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2	6	5	1	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		5	8	1	14
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		5	8	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人のアセスメント、ライフサポートプランから目標を把握することができる。 ・介護経過表や申し送りを通して、普段の関わりの内容を把握することができる。 ・本人のプランに沿うような関わりができるようになってきている。職員間の意見交換の場も増えたように思う。 ・会議の場で利用者の対応など意見交換することで、どのようにすれば安心、安全に利用できるか検討し実施できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・目標は都度、ライフサポートプランで確認できるが、目の前のことだけを行っていたように感じる。 ・目標を目指した関わりまでには至っていない。 ・ミーティングの場で積極的に発言できていない。 ・異動できて関わりが浅いため、把握できずに不十分であるため。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング等の場において、職種に関係なく積極的に意見交換することで、利用者本人の意向や目標（ゴール）を把握し、目標（ゴール）を意識した関わりができるように取り組んでいく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年10月1日～10月11日

3. 日常生活の支援

メンバー 佐藤、齋藤大、成田、佐藤治、相坂、齋藤慶、三上、前田、玉田、福士、蒔苗、高橋、外崎、山本 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	2人	1人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 生活歴や以前の暮らし方の把握をするため、まずは今ある情報の確認を行う。その上で不足している情報を収集する関わりを自ら率先して行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 利用者や家族とのやり取りの中で情報収集は行っているが、大まかな情報の収集で終わっており、不足している情報を意識してのものではなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		4	8	2	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	9		1	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	5	8		14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	10	1		14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	7	2	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> アセスメントシートを見直したり、アセスメントシートを活用することで情報をより知ることができている。 本人の気持ち、体調の変化等、日々の記録に詳しく記すことで共有できていた。 変化に気付いた際は職員間で話し合い、情報が共有できるよう記録に残している。 その日の状態に合わせて介助できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 情報を共有することはできているが、共有後に必要な支援が継続されていないことがある。 チームとして声にならない声を言語化できている人が少ない。 以前の暮らし方について、大まかな把握で満足し、深く知ろうという気持ちが足りずに10個の把握に至らなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 担当職員は今ある情報と不足している情報を整理し、日々の関わりの中で不足している情報(以前の暮らし方)収集を意識して行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年10月1日～10月11日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 佐藤、齋藤大、成田、佐藤治、相坂、齋藤慶、三上、前田、玉田、福土、蒔苗、高橋、外崎、山本 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	4人	1人	13人

前回の改善計画
 ・生活歴や以前の暮らし方の把握をするため、まずは今ある情報の確認を行う。その上で不足している情報を収集する関わりを自ら率先して行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・利用者や家族とのやり取りの中で情報収集は行っているが、地域との関係を意識しての情報収集があまりできていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	8	3	1	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		6	6	2	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	4	7	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	10	2	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・送迎時、訪問時に家族と話す機会を利用し、情報を収集することができている。
 ・ケアマネと共に自宅へ伺い、アセスメントをとることにより生活スタイル等の情報を把握することができた。
 ・モニタリングやカンファレンスにて確認することができている。
 ・もともと地域との関わりを持っている利用者については、そのまま継続できるように家族が対応できない部分を支援することで対応することができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・本人が事業所以外で過ごしている時間をどう過ごしているのか把握しきれていない。
 ・担当利用者以外の把握がなされていない。
 ・必要な地域資源は見えてきているが、途切れないような支援の提供が十分にはできていない。
 ・地域との関係に限られている。
 ・細かな情報把握がなされていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・担当職員は今ある情報と不足している情報を整理し、日々の関わりの中で不足している情報(地域との関係)収集を意識して行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年10月1日～10月11日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 佐藤、齋藤大、成田、佐藤治、相坂、齋藤慶、三上、前田、玉田、福土、蒔苗、高橋、外崎、山本 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	4人	1人	13人

前回の改善計画
・ミーティングの機会を活用して積極的に意見交換することで利用者本人・家族の意向を確認した上で、地域の社会資源を活用した関わりができるように取り組んでいく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・ミーティング等で意見交換を行うことで以前よりも必要な支援はできていたが、自分たちの事業所と、必要最低限の地域の資源しか活用できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	7	5	1	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	7			14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	10			14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	10			14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日々の変化をミーティングで確認、意見交換することでその時に必要な支援を行うことができている。
・ミーティングやその他の場面でも話し合いをする機会をもつことで、以前よりも必要な支援ができている。
・利用者、家族の状態に合わせて柔軟な対応ができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者それぞれの地域の資源の把握ができていない。
・地域の社会資源の活用は、十分にはできていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・利用者・家族の意向を確認した上で職員間で意見交換し、地域の資源を活用してその人らしい生活を継続することができるように取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年10月1日～10月11日

6. 連携・協働

メンバー 佐藤、齋藤大、成田、佐藤治、相坂、齋藤慶、三上、前田、玉田、福土、蒔苗、高橋、外崎、山本 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	3人	2人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が地域の活動や会議等へ参加することができる機会を確保していくことで、地域交流の意識を高めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活動や会議への参加は、業務の都合もあり限られた職員のみとなってしまうていた。地域の行事や活動等の把握も乏しく、地域の中の事業所としての意識が低かったように思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		5	4	5	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		5	4	5	14
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		5	4	5	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		7	2	5	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 敬老会等の行事の際に、地域の保育園園児や高校の吹奏楽部の生徒が来所している他、高校生の奉仕活動、中学生の職場体験を受け入れている。 町会の活動や地域の会議等に参加する機会があり、積極的に関わろうとしている。 運営推進会議において、役所職員、包括支援センター、町内会会長、民生委員の方と意見交換が図れている。 サービス利用開始時や退院時、更新時にカンファレンスを行っている。 入院中の様子や退院前の会議に参加する機会がある。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域交流や地域の会議・活動へ参加する機会が十分でない。 サービス機関との会議にケアマネと担当が参加することとしているが、スケジュールの関係等により十分に参加できていない。 地域住民の来所が少ない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 職員一人一人が地域の活動や交流への関心を高め、それぞれが意識して地域交流を実践していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年10月1日～10月11日

7. 運営

メンバー 佐藤、齋藤大、成田、佐藤治、相坂、齋藤慶、三上、前田、玉田、福土、蒔苗、高橋、外崎、山本 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	7人	3人	2人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と協働した取組みを行うことができるよう検討をすすめていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・協働した取組みとしては、町内会の側溝清掃などわずかであり、受け身の姿勢が強かったように思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	1	7	3	3	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	12		1	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	7	3	3	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		5	5	4	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・半期ごとに意見を出し合い、業務の見直しができている。 ・利用者、家族からの意見・苦情に対しては早急にミーティング等で話し合い、検討することで対応できている。 ・事業所の存在を地域に知ってもらえるよう、地区の交流センターや温泉チラシを設置してもらっている。 ・町内会や包括支援センターが主催のものに、参加可能なものには積極的に出掛けている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で意見を吸い上げることはできるが、協働した取組みとなると側溝清掃ぐらいであり、十分ではない。 ・地域の取組みを理解できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動を理解した上で、事業所主導で地域との協働した取組みを検討し、地域における事業所の存在価値を高める。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年10月1日～10月11日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 佐藤、齋藤大、成田、佐藤治、相坂、齋藤慶、三上、前田、玉田、福土、蒔苗、高橋、外崎、山本 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	3人	0人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域で開催される会議には積極的に参加していく。職務上必要な研修については計画的に参加する。資格取得やスキルアップにつながる研修については、個人的に積極的に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修や職務上必要な研修に関しては計画的に参加できた。地域で開催される会議は数が少なく、参加できる職員が限定されてしまった。資格取得やスキルアップのための研修については個人差がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	11			14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	8	4	1	14
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	2	10	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	9	3	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 園内、園外研修に参加し、参加後も復命報告等で周知することで、スキルアップにつなげることができている。 ヒヤリハット、インシデント報告を会議や記録を通して把握し、今後の対応を検討することができている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域連絡会に参加できていない。 リスクマネジメントの取り組みはできているが、対応が不十分で未熟な部分がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 地域で開催される会議へ積極的に参加していく。職務上必要な研修については計画的に参加する。資格取得やスキルアップにつながる研修については、個人的に積極的に参加する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年10月1日～10月11日

9. 人権・プライバシー

メンバー 佐藤、齋藤大、成田、佐藤治、相坂、齋藤慶、三上、前田、玉田、福土、蒔苗、高橋、外崎、山本 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	1人	0人	13人

前回の改善計画
・プライバシー、特に羞恥心に配慮した声掛け、対応に十分に気を付ける。

前回の改善計画に対する取組み結果
・定期的開催している身体拘束撤廃委員会において、事業所の方針や適切なケア、不適切ケアを確認したが、プライバシーや羞恥心に配慮できていない場面あった。引き続き職員間で意識して取り組む必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11	3			14
②	虐待は行われていない	13	1			14
③	プライバシーが守られている	10	3	1		14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	2	10	14
⑤	適正な個人情報の管理ができています	4	10			14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・3ヶ月毎の身体拘束撤廃委員会及び研修において、身体拘束に関して事業所の方針を全職員で統一し、適切なケア、不適切なケアについて学び確認する機会を設けている。
・身体拘束、虐待は行われていない。一言一言の発言に配慮するよう気を付けている。
・入浴時は利用者の方に合わせて時間をずらしたり、カーテンで仕切る等、プライバシーに配慮できている。身体拘束の研修を行ったことで職員同士でも羞恥心や声掛けにも配慮できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・羞恥心への配慮は十分ではない場面もある。
・成年後見制度を活用している人がいない。また、触れる機会がないため学びの意識が薄い。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・プライバシー、特に羞恥心について、必要に応じて職員同士で声掛けし合う等、配慮した声掛け、対応に十分に気を付ける。